●コンクリート・モルタル下地の確認と調整

●下地の乾燥

①コンクリート・モルタルの養生不足は、水分の影響により防水層のフクレ、硬化不良を、また、アルカリの影響により密着不良が発生する恐れがあります。したがって、含水率が高周波水分計ケット社製HI-500・HI-520で測定し、コンクリートレンジの表示値が5%以下、かつpH9.5以下になってから施工して下さい。
5%以下でも気温が急上昇の時は湿気の突き上げがあるので注意して下さい。
②コンクリート・モルタル打設後の養生期間（目安）
夏期:3週間以上　　冬期:4週間以上
③降雨直後で下地が全面的に水分を含んでいる場合は、2日以上乾燥させて下さい。
④部分的にしめっている場合は、バーナー等でその部分を乾燥させて下さい。火気を使用しますので溶剤系塗料を同時に取り扱うことは避けて下さい。

●不陸調整

①凸部や突起物はサンダーで削り、平らにして下さい。
②不陸・凹みなど下地の凹凸がはげしい場合はフローン無機防水で平滑にし塗替えプライマーエコを塗布してからエコフローン#12を施工して下さい。
③ルーフドレンの位置にも注意し、水溜りが絶対にできないようにして下さい。

●モルタルの浮き

①浮きの程度が激しい場合には、浮いている部分をはつって強固な下地面を出し、新たにモルタルを打設して下さい。（必ず打継用接着剤を使用）浮きの程度が小さい場合はエポキシ系注入剤を注入して下さい。

●清掃（レイタンス、脆弱部、砂、ゴミ、ホコリ等）

①レイタンスや表面が脆い部分はサンダー、ケレン棒、金ブラシ等で除去し、丈夫な下地を出して下さい。

●勾配

①下地の勾配は1/50～1/100にして下さい。

●金属物との取り合い

①貫通パイプ、ルーフドレン、手すり金具等の金属廻りは塗料、サビ等をケレンし、モルタルとの取り合い部をUカットしてプライマー塗布、乾燥後、フローンシーリングを充填して下さい。特にドレン廻りはガラスクロスを使用し補強して下さい。

●目地処理

①目地は既存の充填材を除去し、プライマー塗布、乾燥後、バックアップ材またはボンドブレーカーを挿入、フローンシーリングにて処理し、ガラスクロスを使用し補強して下さい。

●出入隅

①入隅は通りよく直角にして下さい。
②出隅は鋭角を避け、通りよく45度で5mm程度に面取りして下さい。

●施工上のご注意

①エコフローン#12の可使時間、硬化時間は、施工時の温度に大きく影響されます。最適温度は、15℃～25℃です。5℃以下になりますと硬化が極端に遅くなります。30℃以上になりますと、反応が急激に進み、発泡、塗り継ぎむら等施工不良を起こすことがありますので、温度には充分注意して下さい。
*5℃以下での施工は避けて下さい。
②エコフローン#12は、水分と反応硬化しますので、湿度、雨、汗等にも充分に注意して下さい。
③溶剤希釈は、基本的には行わないで下さい。冬期に、粘度が高くなり、粘度を下げる場合は、エコフローン#12専用減粘剤を使用し、添加量はA液・B液合計量の2%（重量比）を限度とします。過剰な減粘剤の添加や、エコフローン#12専用減粘剤以外の希釈剤使用は硬化や塗膜物性の低下等を起こしますので避けて下さい。
④プライマー塗布後、次工程までの間隔があいたり雨に打たれた場合は、プライマーを再塗装して下さい。
⑤動植物に影響を及ぼす可能性がありますので、施工時及び施工後の換気を充分に行って下さい。
⑥塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時は、産業廃棄物として処理して下さい。

●取り扱い上のご注意

①エコフローン#12は湿気、水分と反応硬化します。開缶したものは速やかに使用して下さい。
②施工時は、換気に充分注意し、有機ガス用防毒マスク、保護メガネ、保護手袋等の保護具を着用して下さい。
③材料が付着した場合は、速やかに洗い落として下さい。万一目に入った場合は、多量の水でよく洗い、痛みの取れない場合は医師の診察を受けて下さい。
④材料は冷暗所に保管し、火気に充分注意して下さい。また、施工現場での保管は、雨等が当たらないようにし、外部の野積は避けて下さい。
⑤施工後はよく手を洗い、充分にうがいをして下さい。

●ご使用時・維持管理上のご注意

この防水層の機能と美観を保つため、以下に注意して下さい。
①トップコートは、降雨や歩行等により3～7年で徐々に磨耗します。防水層の機能を維持するため、3～7年毎に塗り替えを行って下さい。（有償）
※塗り替え目安参照
②保護塗料が薄くなったり、ひび割れ等が生じた場合は管理会社等にご相談の上補修して下さい。（有償）
③防水層の洗浄には家庭用の中性洗剤を使用して下さい。酸、塩素系の洗剤は防水層に損傷を与える恐れがあります。
④防水層の清掃は柔らかい布や雑巾を使用し、充分に乾燥させて下さい。金属ブラシや金属タワシを使用しますと傷がついたり、損傷する恐れがあります。
⑤排水口や排水溝、ドレン廻りのゴミ、泥は定期的に点検、除去し、水溜りのないようにして下さい。
⑥防水層の表面が水などで濡れている場合は滑りやすいのでご注意下さい。
⑦ハイヒールやスパイクシューズ等、防水層を損傷する恐れのある履物で歩行しないで下さい。
⑧防水層の上で火気のご使用はお止め下さい。タバコの吸殻の投げ捨てや花火、溶接作業などはしないで下さい。
⑨防水層の上でゴルフや一輪車等の練習はお止め下さい。クラブや車輪等で防水層を傷つけることがあります。
⑩防水層の上で重量物を引きずったり、落としたりしないで下さい。
⑪防水層の上に椅子やテーブルを置く場合は、足にゴムキャップをかぶせる等して、防水層を保護して下さい。また、物置等の重量物を置かないで下さい。
⑫防水層の上に植木鉢、プランターを置かれる場合は直接置かず、台等を使用し、下部の風通しを良くして下さい。

引火性あり	警　　告	有害性あり
	1.引火性の液体である。 2.健康に有害な物質を含有している。 3.皮膚に付着するとかぶれを起こす恐れがある。 4.蒸気を吸入すると人により喘息様症状を起こすことがある。	
業 務 用	＜注意事項＞1.通常の塗料に比べて幾分毒性が強く、吸入したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれ、また、重い健康障害を起こす恐れがありますから、取り扱いについては、容器に表示された注意事項を守って下さい。 2.アレルギー性等の特異体質、皮膚過敏症や呼吸器系疾患を有する人は、取り扱いを避けて下さい。 （呼吸困難や喘息を引き起こす恐れがあります。） ※詳細な内容が必要な場合には、安全データシート（SDS）をご参照下さい。	

●お問い合わせは・・・・・・

東日本塗料株式会社

本　　社/〒124-0006 東京都葛飾区堀切3-25-18 TEL.03(3693)0851(代) FAX.03(3697)2306
埼 玉 工 場/〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-13 TEL.0480(65)1515(代) FAX.0480(65)1518
仙台営業所/〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野1-4-20 TEL.022(291)7372(代) FAX.022(291)7320
新潟営業所/〒950-0871 新潟市東区山木戸3-7-9 TEL.025(273)5749(代) FAX.025(274)6730
静岡営業所/〒422-8037 静岡市駿河区下島128-1 TEL.054(238)8061(代) FAX.054(238)8063

URL https://www.hnt-net.co.jp

CATALOG NO.02 '22.02.3000

※製品改良のため、予告なく仕様、性能、カタログ内容を変更する場合があります。
※諸官公庁等の特記仕様がある場合には、それを最優先して下さい。

無鉛 環境対応型2液カラーウレタン塗膜防水材

エコフローン#12

JIS A 6021

屋根用ウレタンゴム系高伸長形

F★★★★

特定化学物質障害予防規則
非該当

東日本塗料

無鉛 環境対応型2液カラーウレタン塗膜防水材

JIS A 6021
屋根用ウレタンゴム系高伸長形
F★★★★

エコフローン#12
エコフローン#12立上がり用

特化則対応

MOCAやエチルベンゼン等の特定化学物質障害予防規則（特化則）に対応した環境配慮型ウレタン塗膜防水材です。

高性能・高品質

従来の塗膜防水材と同等以上の優れた性能と品質で、高い防水機能を発揮します。

環境対応型仕様

下塗り材からトップコート、副資材まで環境対応型の仕様を取り揃えています。

常備色

エコフローン＃12

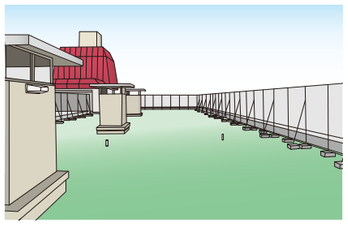
ブルーグレー（72-80H赤め近似色）

エコフローン＃12立上がり用

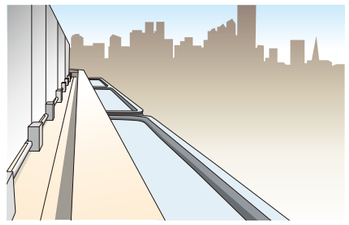
ブルーグレー（77-70H赤め近似色）

※この見本色は印刷によるもので現物と異なります。 ※エコフローン＃12とエコフローン＃12立上がり用では多少色が異なります。

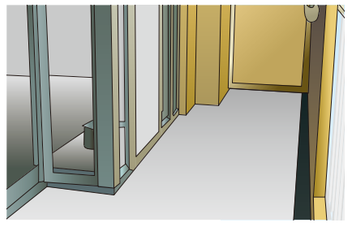
用途



①屋上

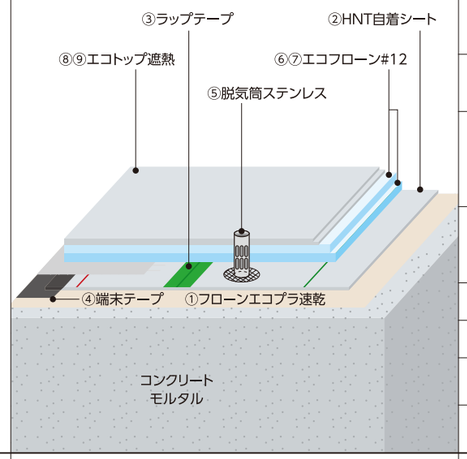
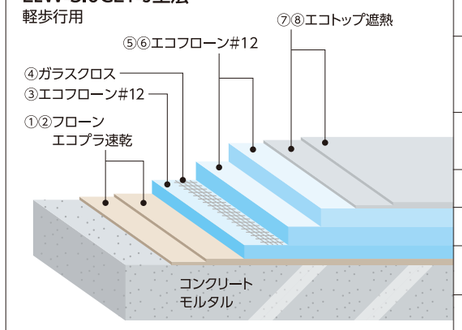
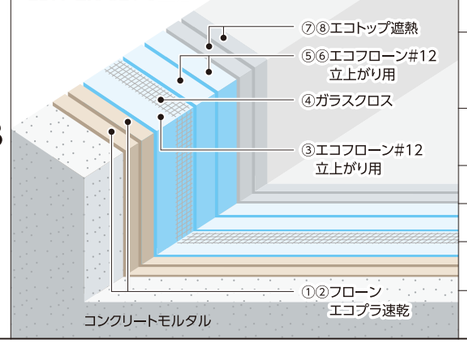


②庇

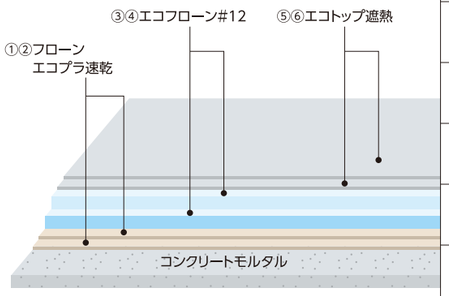
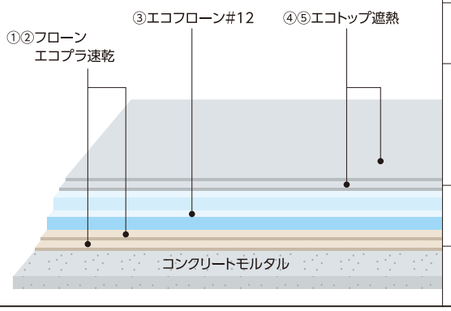


③ベランダ

標準工法

工法名	工程	材料名	使用量（kg／㎡）	上塗可能時間（23℃）	備考
1 国土交通省 X-1適合　JASS 8 L-USS適合　脱気工法 ELW-4.2JSET-J工法 軽歩行用 	1	フローン エコプラ速乾	0.15	3～48時間	A液（主剤）：B液（硬化剤）=1：2（重量比）の割合で計量，混合し、電動撹拌機で充分に撹拌後、中毛ローラー，ハケにて塗布する。
	2	HNT自着シート	—	—	HNT自着シート裏面の離着フィルムを剥がして、転圧をかけながら自着シートを張り付ける。
	3	ラップテープ	—	—	シートとシートのジョイント部はラップテープにて処理する。
	4	端末テープ	—	—	自着シートの端末部分は、端末テープを張り付け、ガラスクロスとフローンシーリングもしくはフローン防水材にて処理する。
	5	脱気筒ステンレス	—	—	25～ 50㎡に1ヶの割合で取付け、取り合い部はフローンシーリングにて補強クロスを貼り付ける。
	6	エコフローン#12	1.9	24～48時間	A液：B液=1：2（重量比）の割合で計量，混合し、電動撹拌機で充分撹拌後、コテにて塗布する。
	7	エコフローン#12	2.0	24～48時間	
	8	エコトップ遮熱	0.12	4～48時間	A液：B液=1：7（重量比）の割合で計量、水道水にて0～5%希釈，混合，電動撹拌機で撹拌後、中毛ローラー，ハケにて塗布する。
	9	エコトップ遮熱	0.12	—	
2 国土交通省 X-2適合　JASS 8 L-UFS適合 ELW-3.0CET-J工法 軽歩行用 	1	フローン エコプラ速乾	0.15	3～48時間	A液（主剤）：B液（硬化剤）=1：2（重量比）の割合で計量，混合し、電動撹拌機で充分に撹拌後、中毛ローラー，ハケにて塗布する。
	2	フローン エコプラ速乾	0.15	3～48時間	
	3	エコフローン#12	0.3	直後	A液：B液=1：2（重量比）の割合で計量，混合し、電動撹拌機で充分撹拌後、コテにて塗布する。
	4	ガラスクロス	—	24～48時間	前工程の直後に、浮き、シワが発生しないよう均一に貼り付ける。
	5	エコフローン#12	2.0	24～48時間	A液：B液=1：2（重量比）の割合で計量，混合し、電動撹拌機で充分撹拌後、コテにて塗布する。
	6	エコフローン#12	1.6	24～48時間	
	7	エコトップ遮熱	0.12	4～48時間	A液：B液=1：7（重量比）の割合で計量、水道水にて0～5%希釈，混合，電動撹拌機で撹拌後、中毛ローラー，ハケにて塗布する。
	8	エコトップ遮熱	0.12	—	
3 国土交通省 X-2適合 立上がり仕様　JASS 8　立上がり仕様 適合 ELW-2.0CET-J工法 	1	フローン エコプラ速乾	0.15	3～48時間	A液（主剤）：B液（硬化剤）=1：2（重量比）の割合で計量，混合し、電動撹拌機で充分に撹拌後、中毛ローラー，ハケにて塗布する。
	2	フローン エコプラ速乾	0.15	3～48時間	
	3	エコフローン#12 立上がり用	0.3	直後	A液：B液=1：2（重量比）の割合で計量，混合し、電動撹拌機にて充分撹拌後、コテにて塗布。
	4	ガラスクロス	—	24～48時間	前工程の直後に、浮き，しわが発生しないように均一に貼り付ける。
	5	エコフローン#12 立上がり用	1.3	24～48時間	A液：B液=1：2（重量比）の割合で計量，混合し、電動撹拌機にて充分撹拌後、コテにて塗布する。
	6	エコフローン#12 立上がり用	1.0	24～48時間	
	7	エコトップ遮熱	0.12	4～48時間	A液：B液=1：7（重量比）の割合で計量、水道水にて0～5%希釈，混合，電動撹拌機で撹拌後、中毛ローラー，ハケにて塗布する。
	8	エコトップ遮熱	0.12	—	

※事前に下地調査を必ず行って下さい。コンクリート・モルタルのエフロレッセンス（白華）、レイタンス、砂、ゴミ、ホコリは、完全に除去して下さい。旧塗膜がある場合は、当社にご相談下さい。
※吸い込みの激しい下地の場合、フローンエコプラ速乾を3回以上塗布して下さい。

工法名	工程	材料名	使用量(kg／㎡)	上塗可能時間(23℃)	備考
4 ELW-2.0ET工法 ベランダ・バルコニー・庇 	1	フローン エコプラ速乾	0.15	3～48時間	A液：B液=1：2（重量比）の割合で計量、混合し、電動撹拌機で充分に撹拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布する。
	2	フローン エコプラ速乾	0.15	3～48時間	
	3	エコフローン#12	1.0	24～48時間	A液：B液=1：2（重量比）の割合で計量、混合し、電動撹拌機で充分に撹拌後、コテにて塗布する。
	4	エコフローン#12	1.6	24～48時間	
	5	エコトップ遮熱	0.12	4～48時間	A液：B液=1：7（重量比）の割合で計量、水道水にて0～5%希釈，混合，電動撹拌機で撹拌後、中毛ローラー，ハケにて塗布する。
	6	エコトップ遮熱	0.12	—	
5 ELW-1.5ET工法 ベランダ・バルコニー・庇 	1	フローン エコプラ速乾	0.15	3～48時間	A液：B液=1：2（重量比）の割合で計量、混合し、電動撹拌機で充分に撹拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布する。
	2	フローン エコプラ速乾	0.15	3～48時間	
	3	エコフローン#12	2.0	24～48時間	A液：B液=1：2（重量比）の割合で計量、混合し、電動撹拌機で充分に撹拌後、コテにて塗布する。
	4	エコトップ遮熱	0.12	4～48時間	A液：B液=1：7（重量比）の割合で計量、水道水にて0～5%希釈，混合，電動撹拌機で撹拌後、中毛ローラー，ハケにて塗布する。
	5	エコトップ遮熱	0.12	—	

※事前に下地調査を必ず行って下さい。コンクリート・モルタルのエフロレッセンス（白華）、レイタンス、砂、ゴミ、ホコリは、完全に除去して下さい。旧塗膜がある場合は、当社にご相談下さい。
※吸い込みの激しい下地の場合、フローンエコプラ速乾を3回以上塗布して下さい。

容量・配合比

	容量			配合比	
	A液	B液	セット	A液	B液
エコフローン#12	6kg	12kg	18kg	1	2
エコフローン#12 立上がり用	6kg	12kg	18kg	1	2

工法別1セットあたりの塗装面積

	工法名	塗装面積
1	ELW−4.2JSET−J工法	約4.6㎡
2	ELW−3.0CET−J工法	約4.6㎡
3	ELW−2.0CET−J工法	約6.9㎡
4	ELW−2.0ET工法	約6.9㎡
5	ELW−1.5ET工法	約9㎡

改修

ウレタン塗膜防水材及びトップコートの塗替えには、塗替えプライマーエコ、フローンプライマーUSを使用して下さい。

※その他の塗替えについては、当社にご相談下さい。

トップコート塗り替え目安	
エコトップ遮熱	6～8年
エコトップ	5～7年
スーパートップ遮熱	8～10年
弾性トップ14	4～6年

※標準塗布量使用時

エコフローン#12／エコフローン#12 立上がり用

公共建築工事標準仕様

■国土交通省建築工事共通仕様書（平成31年度版）抜粋

※下記3工法は特定化学物質障害予防規則に該当する物質を含んでおります。

●ウレタンゴム系塗膜防水

ウレタンゴム系塗膜防水の種別及び工程

種別	X−1（絶縁工法）		X−2（密着工法）	
工程	材料・工法	使用量（kg/㎡）	材料・工法	使用量（kg/㎡）
1	接着剤塗り 通気緩衝シート張り(注)5	0.3	プライマー塗り	0.2
2	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り	3.0 (注)1,(注)4	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り 補強布張り	0.3 (注)1
3	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り		ウレタンゴム系塗膜防水材塗り	2.7 (注)1 (1.7) (注)2 (注)4
4	仕上塗料塗り(注)6	————	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り	
5	————	————	仕上塗料塗り(注)6	————

（注）1. 表中のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は、硬化物密度が1.0Mg/㎥である材料の場合を示しており、硬化物密度がこれ以外の場合にあっては、所要塗膜厚を確保するように使用量を換算する。
2. 立上がり部はすべて、種別X−2とし、工程3及び工程4を（ ）内とする。
3. ウレタンゴム系塗膜防水材塗りについては、1工程当たりの使用量を、硬化物密度が1.0Mg/㎥である材料の場合、平場は2.0kg/㎡、立上がりは1.2kg/㎡を上限として変更することができる。
4. ウレタンゴム系塗膜防水材塗りは2回以上に分割して塗り付ける。
5. 接着剤以外による通気緩衝シートの張付け方法は、主材料製造所の仕様による。
6. 仕上塗料の種類及び使用量は、特記による。特記がなければ、使用量は主材料の製造所の仕様による。

■フローンELW−4.2JST−J工法
（平成31年度版 国土交通省仕様書X−1 適合）

工程	材　料　名	使用量(kg/㎡)	上塗可能時間(23℃)	備　　考
1	素地調整	————	————	
2	フローンプライマーU2	0.2	2～24時間	原液のまま、ローラー、ハケにて塗布。
3	HNT自着シート	————	————	HNT自着シートの離着フィルムを剥がし、転圧をかけながらシートを貼り付ける。
4	ラップテープ	————	————	シートジョイント部はラップテープを張り付けて転圧する。
5	端末テープ	————	————	自着シートの端末部分は、端末テープを貼り付け、ガラスクロスとフローンシーリングもしくはフローン防水材にて処理。
6	脱気筒ステンレス	————	————	25～50㎡に1ヶの割合で取付け、取り合い部は、フローンシーリングにて補強クロスを貼り付ける。
7	エコフローン＃12	1.9	24～48時間	A液:B液=1:2(重量比)の割合で計量、混合し、電動撹拌機で充分撹拌後、コテにて塗布。
8	エコフローン＃12	2.0	24～48時間	
9※	弾性トップ14 トップ14シンナー	0.2 0.1	————	A液:B液=1:4(重量比)の割合で計量、トップ14シンナーにて50%希釈、混合、電動撹拌機で撹拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。

※上塗り材は各種トップコートの選択が可能です。6ページのトップコート一覧表をご参照ください。

■フローンELW−3.0CT−J工法
（平成31年度版 国土交通省仕様書X−2 適合）

工程	材　料　名	使用量(kg/㎡)	上塗可能時間(23℃)	備　　考
1	素地調整	————	————	
2	フローンプライマーU2	0.2	2～24時間	原液のまま、中毛ローラー、ハケにて塗布。
3	エコフローン＃12	0.3	直後	A液:B液=1:2(重量比)の割合で計量、混合し、電動撹拌機で充分撹拌後、コテにて塗布。
4	ガラスクロス	————	24～48時間	前工程の直後に、浮き、シワが発生しないよう均一に貼り付ける。
5	エコフローン＃12	2.0	24～48時間	A液:B液=1:2(重量比)の割合で計量、混合し、電動撹拌機で充分撹拌後、コテにて塗布。
6	エコフローン＃12	1.6	24～48時間	
7※	弾性トップ14 トップ14シンナー	0.2 0.1	————	A液:B液=1:4(重量比)の割合で計量、トップ14シンナーにて50%希釈、混合、電動撹拌機で撹拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。

※上塗り材は各種トップコートの選択が可能です。6ページのトップコート一覧表をご参照ください。

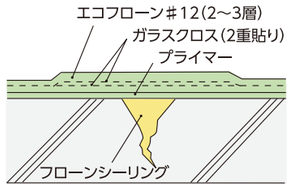
■フローンELW−2.0CT−J工法
（平成31年度版 国土交通省仕様書X−2 立上り仕様適合）

工程	材　料　名	使用量(kg/㎡)	上塗可能時間(23℃)	備　　考
1	素地調整	————	————	
2	フローンプライマーU2	0.2	2～24時間	原液のまま、中毛ローラー、ハケにて塗布。
3	エコフローン＃12立上がり用	0.3	直後	A液:B液=1:2(重量比)の割合で計量、混合し、電動撹拌機で充分撹拌後、ゴムベラ、砂骨材ローラー、コテにて塗布する。
4	ガラスクロス	————	24～48時間	前工程の直後に、浮き、シワが発生しないよう均一に貼り付ける。
5	エコフローン＃12立上がり用	1.3	24～48時間	A液:B液=1:2(重量比)の割合で計量、混合し、電動撹拌機で充分撹拌後、ゴムベラ、砂骨材ローラー、コテにて塗布する。
6	エコフローン＃12立上がり用	1.0	24～48時間	
7※	弾性トップ14 トップ14シンナー	0.2 0.1	————	A液:B液=1:4(重量比)の割合で計量、トップ14シンナーにて50%希釈、混合、電動撹拌機で撹拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。

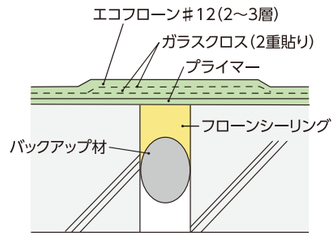
※上塗り材は各種トップコートの選択が可能です。6ページのトップコート一覧表をご参照ください。

施工納り図

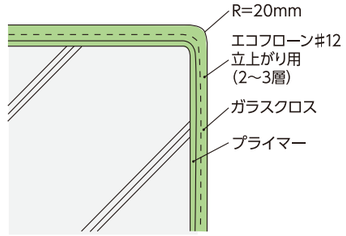
1.クラック部



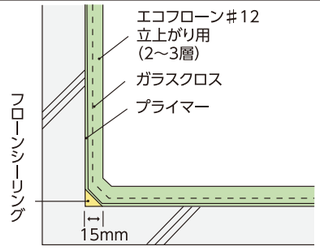
2.伸縮目地



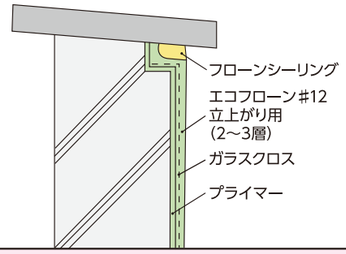
3.出隅



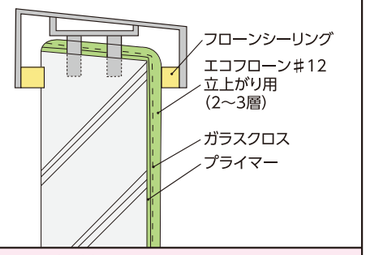
4.入隅



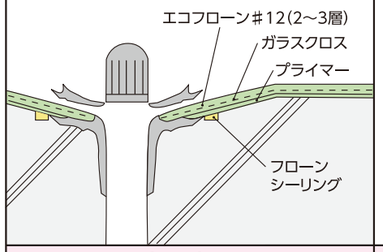
5.笠木立上がり



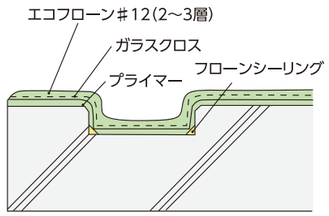
6.金属笠木(別途工事)



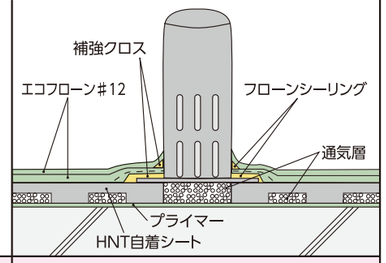
7.ドレン回り



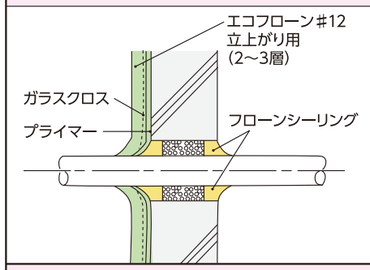
8.庇回り



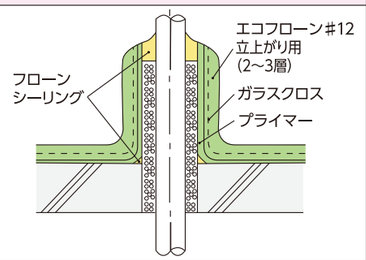
9.脱気筒ステンレス



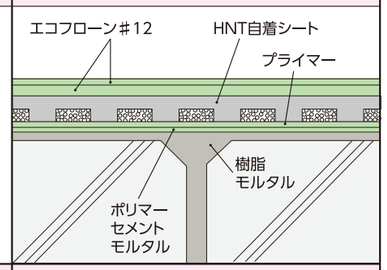
10.壁貫通パイプ



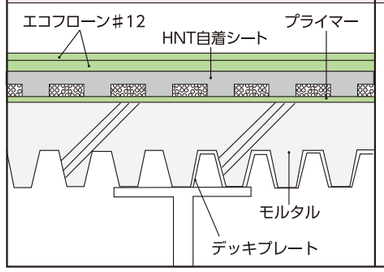
11.床貫通パイプ



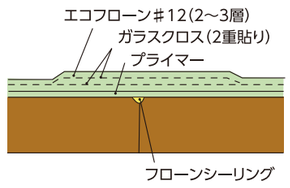
12.ALC板ジョイント



13.デッキプレート



14.コンパネジョイント



●エコフローン#12の上には、必ずトップコートを施工して下さい。●下地がALC板及びコンパネの場合、プライマーの使用量は、通常の2〜3倍必要となります。

関連製品・副資材

■下塗り材

品　名	容　量			配合比	標準使用量	上塗可能時間(23℃)	備　考
	A　液	B　液	セット				
フローンエコプラ速乾	4kg	8kg	12kg	A液:B液=1:2	0.15kg/㎡×2回塗り	3〜48時間	水性・新規コンクリート・モルタル面用
	1kg	2kg	3kg				
塗替えプライマーエコ	1kg	10kg	11kg	A液:B液=1:10	0.15kg/㎡×1回塗り	4〜24時間	水性・塗り重ね用
	0.3kg	3kg	3.3kg				
フローンプライマーH	15kg	15kg	30kg	A液:B液=1:1	0.15kg/㎡×2回塗り	2〜24時間	新規コンクリート・モルタル面用
	6kg	6kg	12kg				
	3kg	3kg	6kg				
	1kg	1kg	2kg				
フローンプライマーU2	16kg			1液・無希釈	0.15kg/㎡×2回塗り	2〜24時間	新規コンクリート・モルタル面用
	4kg						
フローンプライマーUS	15kg			1液・無希釈	0.15kg/㎡×1回塗り	3〜24時間	塗り重ね用
	5kg						

■トップコート

品　名	容　量			配合比	標準使用量	乾燥時間(23℃)(歩行可能時間)	備　考
	A　液	B　液	セット				
エコトップ遮熱	1.5kg	10.5kg	12kg	A液:B液=1:7	0.12kg/㎡×2回塗り	12時間以上	水性・超耐候性遮熱トップコート
	0.5kg	3.5kg	4kg				
エコトップ	1.5kg	10.5kg	12kg	A液:B液=1:7	0.12kg/㎡×2回塗り	12時間以上	水性・超耐候性トップコート
	0.5kg	3.5kg	4kg				
スーパートップ遮熱	5kg	10kg	15kg	A液:B液=1:2	0.2kg/㎡×1回塗り	12時間以上	超耐候性遮熱トップコート
	2kg	4kg	6kg				
弾性トップ14	3kg	12kg	15kg	A液:B液=1:4	0.2kg/㎡×1回塗り	12時間以上	保護・美装用トップコート
	1kg	4kg	5kg				

■副資材

品　名	容　量	備　考
フローンシーリング	320mℓカートリッジ 10本入り	ウレタンシーリング材　色/ホワイト・グレー
ガラスクロス	104cm×100m	ウレタン防水工事用補強クロス
目地用クロス	10cm×100m	ウレタン防水工事用補強クロス
HNT自着シート	104cm×15m	自着層付通気緩衝用シート シート部1.2mm
ラップテープ	90mm×50m	HNT自着シート接合用テープ
端末テープ	75mm×25m	HNT自着シート端末処理用テープ
脱気筒ステンレス	1ケース 2個入り	付属品(1個につき):補強クロス1枚 プラグレスアンカー4本
フローンプラチップ	2kg	プラスチック骨材　細目
フローンプラチップL	2kg	プラスチック骨材　荒目(※ローラーネット使用)
フローンパウダー	15kg	プライマー混練用
	5kg	
エコフローン#12 専用硬化促進剤	6kg	硬化促進剤 ※5℃時 平場用1% 立上がり用0.5%
エコフローン#12 専用増粘剤	0.8kg	増粘剤
エコフローン#12 専用減粘剤	16L	減粘剤
	4L	